

2014年度関東支部予選

帆走指示書

1 規則

- 1.1 本大会は2013-2016セーリング競技規則(RRS)に定義された規則が適用される。
- 1.2 日本学生ボードセーリング連盟規則が適用される。
- 1.3 帆走指示書と各規則が矛盾する場合、帆走指示書を優先する。

2 競技種目 テクノ293クラス(A17ディビジョン)

3 帆走指示書の変更並びに選手への通告

帆走指示書の変更並びに選手への通告がある場合は、大会本部の公式掲示板に掲示される。

4 信号

- 4.1 陸上で発せられる信号は大会本部前に掲げられ、次のとおりとする。

<AP旗> 「レースのスタート予定時刻は延期された。出艇を禁止する。」

<L旗> 「新たな通告が公式掲示板に掲示された。」

<Z旗> 「出艇を許可する。スタート予定信号は、掲揚25分後に発せられる。」

<Y旗> 「陸上で指示されたゲートを通してレース海面に向かうこと。」

<AP/A旗> 「本日行うすべてのレースは終了した。」

4.2 海上で発せられる信号

<L旗> 「声の届く範囲まで本部艇に寄れ。競技者への指示がある場合指示内容を伝える。」

<AP旗> 「レースのスタート時刻は延期された。新しい予告信号はAP旗の降下後1分で発せられる。」

<N旗> 「現行の競技は中止される。この後の信号は本部艇より発せられる。」

<H旗> 「フィニッシュした艇は、砂浜へ速やかに戻れ。」

<S旗> 「コースを短縮する。」

<L/L旗> 「引き続き次のレースを行う。」

5 責任の所在

本大会の主催者、関係団体及びレース委員会は、人員及び物件に対するいかなる責任も負わない。出艇するかしないか、あるいはレースを継続するか否かの責任は各選手の判断にある。

6 安全

- 6.1 選手は出艇から帰着まで、適切なライフジャケット及び、直径5mm以上で長さ5m以上のレスキューシートを常時着用しなければならない。

- 6.2 選手は海上に出艇する前に、大会本部で出艇申告をしてから出艇しなければならない。また、帰着後速やかに帰着申告をしなければならない。

- 6.3 レースからリタイアする選手は、可能な限りレースエリアを離れる前に運営艇に通告

しなければならない。

6.4 陸上でY旗が掲揚された場合は、指示されたゲートを通ってレース海面に向かわなければならない。また、このゲートを通過できない選手はそのレースに参加することができず、ゲートを通過せずにレースに参加した場合は失格とする。

6.5 必要と見なされた場合、レース委員は選手に対し、艇を放棄してレスキューボードに乗船するよう命ずることができる。

7 得点

7.1 得点方式はRRS付則A4における低得点方式を適用する。

7.2 1日最大5レース、最大8レースを予定するが、1レースの完了により本大会は成立となる。

7.3 4レース以上が完了した場合、ボードの本大会の得点は、最も悪いレース得点を除外したレース得点の合計とする。

7.4 4レース未満しか完了しなかった場合、ボードの本大会の得点は、レース得点の合計とする。

8 レースコース

帆走するコースは添付図の通りとする。

9 クラス旗

メンズのクラス旗をG旗、レディースのクラス旗をF旗とする。

10 マーク

マークの形状、色は以下の通りとする。

1マーク、2マーク - オレンジ三角形

スタートアウターマーク - 白色円筒形

フィニッシュマーク - オレンジ円筒形

11 出艇

大会運営側が指定する箇所から出艇すること。

12 スタート

12.1 レースは、規則26に基づきスタートする。

予告信号掲揚（5分前） <クラス旗>掲揚 音響信号1声

準備信号掲揚（4分前） <I旗>または<黒色旗>掲揚 音響信号1声

準備信号降下（1分前） <I旗>または<黒色旗>降下 長音1声

予告信号降下（スタート） <クラス旗>降下 長音信号1声

12.2 スタートラインは、スターボードの端にある本部船のJUBF旗と、ポートの端にある白色円筒形のアウターマークの間とする。

12.3 予告信号降下4分後、スタートラインをクローズする。スタートしていない艇はDNSとして記録される。これは規則A4を変更している。ただし、スタートクローズ後もF旗は掲揚され続ける。

12.4 スタート本部船風上側の帆走の禁止

全てのスタートにおいて準備信号が発せられた後はスタート本部船と第1マークを結ぶ線をコースエリアの外側からコースエリアサイドに横切ってはならない。この規定に違反したボードは、そのレースにおいて失格とする。

13 リコール

リコールは規則29に従って信号が発せられる。

14 スタートのペナルティー

14.1 規則30.1 I旗規則を全てのレースの最初のスタートから適用する。

14.2 規則30.3 黒色旗規則が適用されたレースにおいて、同規則に違反した艇のセールナンバーはゼネラルリコールとなった場合、本部船に次の新たな予告信号までの間掲示される。各選手はこれを確認する義務があるものとし、これに違反してレースに参加した選手は、DNEの扱いとなる。

15 フィニッシュ

15.1 フィニッシュラインは、本部艇のJUBF旗と、オレンジ円筒形のフィニッシュマークとの間とする。

15.2 コース短縮の場合のフィニッシュラインは、運営船のS旗と、先頭のボードが回航しようとするマークの間とする。

16 タイムリミット

16.1 先頭のボードがコースを帆走してフィニッシュした後15分以内にフィニッシュしないボードはDNFと記録される。この項は規則35、A4、A5を変更している。ただし、ゲートクローズ後もF旗は掲揚され続ける。

16.2 スタート後、先頭のボードが15分以内に最初のマークに到達できない場合、そのレースは中止される。

17 抗議

17.1 レースエリアで起こったケースについて抗議しようとするボードはレース委員会にその旨を伝えなければならない。

17.2 抗議は、陸上本部に用意された所定の用紙に記入の上、当日の最終レース終了後60分以内に陸上本部に提出しなければならない。抗議締切時刻は、公式掲示板に掲示される。

17.3 審問の順番及び審問の時間は抗議書が提出された後できる限り速やかに掲示される。

18 支援艇

チームリーダー、コーチ、その他の支援要員は、準備信号の時刻からすべての艇がフィニッシュするか、又はレース委員会が延期、ゼネラルリコールもしくは中止の信号を発するまで、レースに影響するエリアにいてはならない。これに違反した場合、その支援艇に関連する全ての艇に対してペナルティーが課せられることがある。

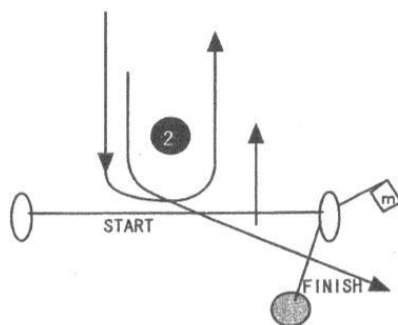
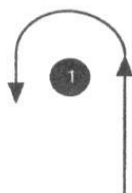
19 賞

エキスパートクラス 1～6位

20 バックトゥバックトゥバックを行う可能性がある

21 ターゲットタイムは25分とする

※レースコース図



START→1→2→1→2→FINISH